

2021年度京都会議 開催ガイドライン 新型コロナウイルス感染拡大対策として

※原則として、最新版の「公益社団法人日本青年会議所 カンファレンス開催ガイドライン」に準じた対応を行うこととする。

■京都会議期間中の対策

1.	有症状者（発熱・咳、息苦しさ、倦怠感、味覚や嗅覚異常）は原則としてリアル参加はさせない。また、新型コロナウイルス感染症の陽性反応のあったものとの濃厚接触がある場合や、近親者や身近な知人に感染が疑われる者がいる場合も同様とする。その際WEB会場への誘導を促す。
2.	京都への入洛当日の検温、また京都会議中の全日程での検温を義務付けるとともに発熱の症状がある場合は当日の参加を取りやめ自宅または宿泊先にて待機するとともに、WEB開催への誘導を行う。
3.	京都会議期間中は原則マスク着用を義務付け、会場内外での三密（密閉・密集・密接）を極力避けた行動やこまめな手指の消毒、手洗い・うがいを実施する。
4.	会場入り口付近での過密を防ぐため、入口・出口を定め一方通行の入退場制限を行う。
5.	参加者には厚生労働省制作の「接触確認アプリ」のダウンロード・実施を義務付ける。 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html
6.	参加者の自宅または職場の都道府県において外出自粛要請が発令されている場合、その旨を報告の上、京都への来訪を原則禁止としWEB参加を要請する。
7.	11月1日以降に海外出張の自粛や緊急事態宣言が発令されている地域への立ち入りの自粛を要請する。
8.	各ファンクション会場前にて検温の実施、手指の消毒、入退室の管理を徹底し所定の定員を超えての入場は制限する。
9.	会場内でのこまめな換気を徹底し、原則として会場の密閉は行わず空間としての開放・換気を常に行う。

10.	会場の収容人数を会場規模の50%未満となるように徹底するとともにファンクションごとの休憩や入退場時間にも余裕を持たせる。
11.	各席の間は1~1.5mの間隔を持たせた席配置とする。
12.	会場内各所に消毒用アルコールを配置し、こまめな消毒を促す。
13.	マスクを忘れた参加者に対し、予備のマスクを用意し配布する。
14.	例年、喫煙所での密集が起こってしまうため、本年は喫煙所において枠を設け、同時喫煙者数を5名とし、警備の人員を配置する。
15.	全会場内において、誘導導線を作成のうえ、タイムスケジュールに合わせた誘導を行い、移動時の密集を防ぐ。

■京都会議外（懇親会等）の対策

1.	懇親会においては原則自粛とし、食事においても京都府の定める「新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン推進宣言事業所」のステッカーを提示されているお店で行うようにしてください。 
2.	飲食物に触れる前に、必ず手洗いや手指の消毒を行うようにしてください。
3.	回し飲みや回し食べ等、食器などの共有は行わないようにしてください。
4.	食事中は大きな声での会話はできる限り控えるようお願いいたします。
5.	原則、カラオケやスナックなど大声を発生する娯楽施設は利用しないでください。
6.	日中のアルコール摂取は控えるようお願いいたします。アルコール摂取による体温の上昇により会場へお入りいただけなくなる場合がございます。

■ J C I 日本カンファレンスガイドライン

<https://www.jaycee.or.jp/2020/honkai/wp/wp-content/uploads/2020/07/e89a37af1194b7024bd344f4eceeddf6.pdf>

■京都府カンファレンスガイドライン

http://www.pref.kyoto.jp/kentai/news/documents/guideline_rei_200907.pdf

■国際会館新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン

https://www.icckyoto.or.jp/about_us/coronavirus/